

「かなり高い」、「かなり低い」の気温予測情報の利用

- 1週間から2週間先の天候に注目 -

沖縄気象台では、毎日の天気予報と週間天気予報のほかに、1か月予報を毎週金曜日に発表しています。1か月予報は土曜日からの向こう1か月間の気温と降水量および日照時間の状況、また1週目と2週目および3～4週目の各期間の平均気温の状況について発表しています。予報は、平均気温が「高い」・「平年並」・「低い」の階級について出現する可能性を確率で示し、降水量と日照時間は、「多い」・「平年並」・「少ない」の階級について出現する可能性を確率で示します。1か月予報は、主に農業や流通関係などに携わる方々に利用されています。

1か月予報を含む季節予報の解説については、下記のホームページをご覧ください。
(<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>)

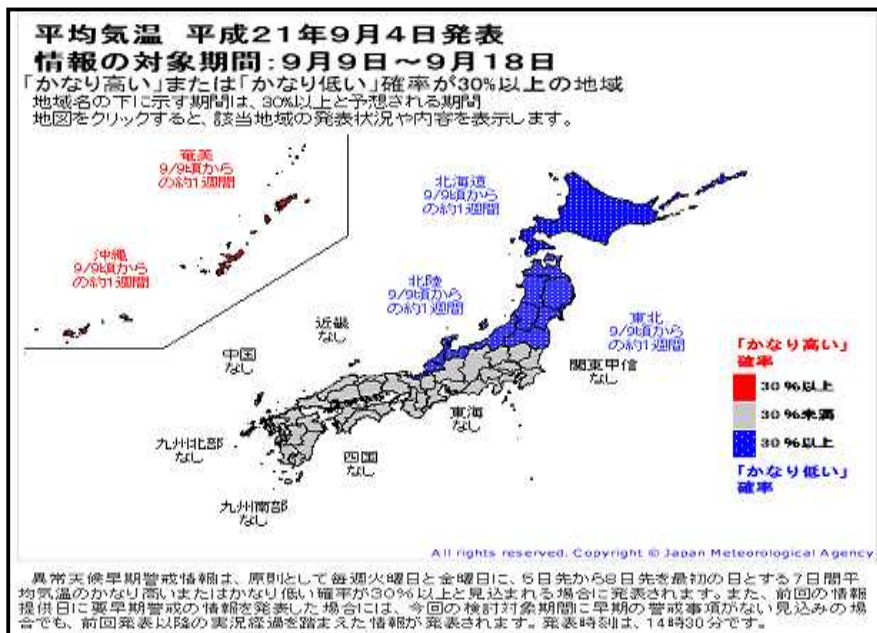
気象庁では、気温の予報精度が以前よりも良くなったことから、様々な分野で有効に活用していただけるよう、概ね1週先から2週先までの7日間平均気温の予報が、平年に比べて大きくかけはなれた「かなり高い」・「かなり低い」となる確率について、その出現の可能性が30%以上と大きくなったときに「異常天候早期警戒情報」として平成20年3月21日から情報を提供しています。

なお、「かなり高い」、「かなり低い」とは、地域や時期によって異なりますが、10年に1回発生する程度の状況です。異常天候早期警戒情報の詳細な解説については、下記のホームページをご覧ください。

(<http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>)

「異常天候早期警戒情報」の利用事例

マンゴーなど果樹等のハウス栽培における温度調節の事前準備と対策、農作物などの出荷の調整、屋外作業または行事等の際の高温対策や日程調整などがあげられます。そのほか、季節外れの高温や低温などの温度変化で大きな影響を受けるおそれがある場合の対策に有効と考えられます。



沖縄気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/>)